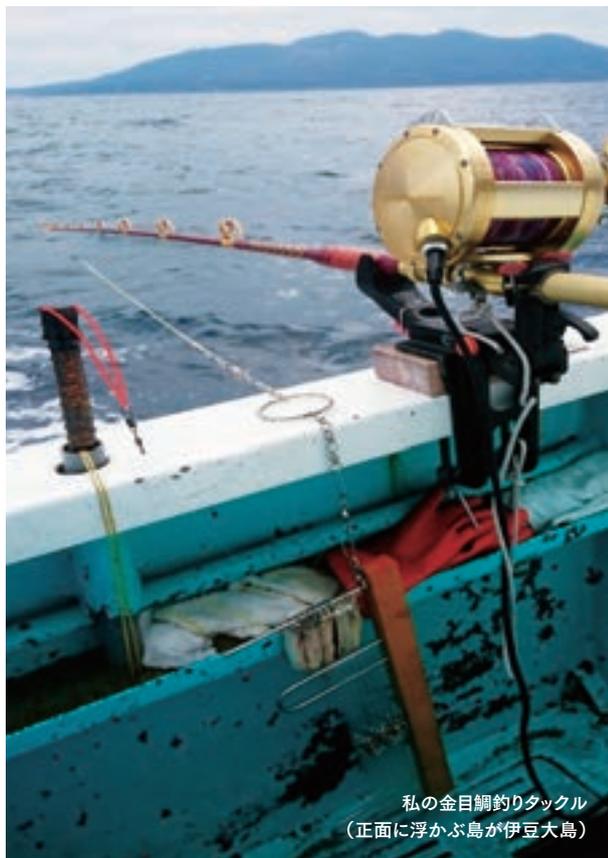


#003 コラム

私の趣味・深海釣り

魚 釣りといえば多種多様である。私の場合は深海釣りという深さ300m～500m位を狙う。電動リールがダイワマリーンパワー3000にPE12号1400m巻き、ロッドはアルファタックル深海竿240の組み合わせが私の金目鯛用タックルである。金目鯛の場合、



私の金目鯛釣りタックル
(正面に浮かぶ島が伊豆大島)

針20号を専用掛け枠に20本付け、錘は鉄筋棒D25を0.4mに切断(鉛より鉄筋の方が環境に優しいのです)、約2kgを船縁に差しておいて、伊豆半島の大島沖～神津島にかけての海に投げ込む。この辺りの冬場は、時化が多く海上はいつも8m～10mの強風、それに加え3m前後の波があり、2kgの鉄筋棒を投げ込むことにも技術が要る。針を20本落とし、金目鯛の生息している場所まで届くには、潮の流れも速いのでそう簡単には行かない。

錘が底に着くのがわかるようになれば一人前。素早く糸ふけを取り、底から錘を4～5m上げてアタリを待つ。祈るような気持ちで待っていると竿先がこつん・こつんと叩かれる。この瞬間が深海釣りの一番の醍醐味

(絶頂)である。

1匹目の当たりがでたら、追い食いを狙い2匹目、3匹目、4匹目・・・を狙う。500m糸を出しているの、巻き上げるにもそれなりの時間が掛かる。この時間も気が抜けない。サメに襲われたら一発でおしまい。仕掛けから全部なくなってしまう。神に祈る気持ちで巻き上げる。

船底近くまで上がると今度は色が気になる。なぜなら、本命の魚でない色がある。その時はがっかりするが、次に期待をする。本命の赤色の魚(釣り上げた時の金目鯛の体は白い!)が列をつないで8匹、9匹と掛かった



一投あたりの金目鯛の釣果

時は、子供の頃に帰った時のようにはしゃいでしまうこともある。1年に2・3回の趣味です。これからは、メヌケ(アコウ)の提灯行列にも挑戦したい。

当協会も今年で設立20周年を迎えることとなりました。P C 建協様はじめ多くの方のご支援ご指導に心より感謝申し上げます。

一般社団法人
プレストレスト・コンクリート工事業協会会長

小瀬谷 末義

